

1 治安等に関する調査について

刑法犯認知件数等の統計的指標からは捉えられない県民の治安に関する認識（いわゆる「体感治安」）や警察に対する県民の要望を把握し、警察行政に反映させることを目的として、平成17年以降、「治安等に関する調査」を実施。

2 調査概要

- (1) 実施時期：令和8年1月
- (2) 対象者：県政モニター200人
- (3) 回答者数：138人（回答率69.0%）

3 調査結果（括弧内の数値は令和7年3月調査結果比）

(1) 鹿児島県の治安について

問 現在の鹿児島県が、治安が良く安全で安心して暮らせる県であると思うか。

- 「そう思う」 49% (-3P)
- 「そう思わない」 7% (-6P)

(2) 治安や犯罪に関する情報について

問 警察等からの治安や犯罪に関する情報提供の内容は十分であると思うか。

- 「十分である」、「まあ十分である」 51% (+9P)
- 「あまり十分でない」、「不十分である」 40% (-13P)

(3) 犯罪の起きにくい社会づくり

問 犯罪の起きにくい社会づくりを実現するためには、特にどのような取組が必要であると思うか。

- ・ 街路灯や防犯カメラの設置などの環境整備 46人
- ・ 警察、地域住民、自治体、学校等の相互の連携強化 36人
- ・ 事件の発生状況等防犯に役立つタイムリーな情報提供 27人
- ・ 警察官によるパトロール活動 17人

(4) 交番・駐在所の活動について

問 近くの交番・駐在所の警察官の活動について、十分であると思うか。

- 「十分である」、「まあ十分である」 38% (-12P)
- 「あまり十分でない」、「不十分である」 20% (+1P)

(5) 交通事故抑止対策について

問 鹿児島県内の交通マナーについてどのように感じているか。

- 「良い」、「どちらかといえば良い」 26% (-10P)
- 「どちらかといえば悪い」、「悪い」 39% (+9P)

(6) 県警察に対する要望等について

問 警察に特に力を入れてほしい活動として、どのようなものを望むか。

- ・ 犯罪抑止対策（パトロールや情報提供など） 75人
- ・ 住民の困りごと、意見要望等の聴取、助言 26人
- ・ 交通違反の取締りや交通安全指導 12人
- ・ 犯罪の検挙 11人